

令和元年度 「市長と語る市政懇談会」



市政懇談会次第

- 1 開会
- 2 市政運営について（市長）
- 3 地区とりまとめ意見・質問等の回答
- 4 自由意見交換
- 5 閉会

令和元年度「市長と語る市政懇談会」開催日程

開催日	地 区 (中学校区)	会 場
6 月 20 日 (木)	一 色	子育て・多世代交流プラザ 〔ふれあいホール〕
6 月 25 日 (火)	吉 良	吉良町公民館 〔講堂〕
7 月 4 日 (木)	西 尾	西尾市役所 5 階〔51 会議室〕
7 月 11 日 (木)	幡 豆	幡豆いきいきセンター 〔つつじホール〕
7 月 16 日 (火)	佐 久 島	佐久島開発総合センター 〔集会室〕
7 月 30 日 (火)	鶴 城 〔ハツ面・鶴城〕	鶴城ふれあいセンター 〔わかつるホール〕
8 月 20 日 (火)	鶴 城 〔米津・西野町〕	西野町ふれあいセンター 〔にしのまちホール〕
9 月 19 日 (木)	平 坂	矢田ふれあいセンター 〔くすのきホール〕
9 月 26 日 (木)	寺 津	寺津ふれあいセンター 〔ブルーホール〕
10 月 10 日 (木)	福 地	福地ふれあいセンター 〔グリーンホール〕
10 月 15 日 (火)	東 部	三和ふれあいセンター 〔多目的ホール〕

●開催時間：午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分

※佐久島地区は、午後 2 時 3 0 分～午後 4 時 3 0 分

■活力と魅力あふれる産業づくり〔観光、地域ブランド、商業、農・水産業、工業・新産業・雇用〕

- ◇全国の茶業関係者が集まる「**全国お茶まつり**」を開催し、「西尾の抹茶」をはじめ西尾の魅力を発信
 - ◇来日する外国人をターゲットにFITの誘致促進事業など**インバウンド**を推進
 - ◇稚貝放流事業や有害生物の捕獲駆除など**アサリ資源**の再生と育成の促進を支援
 - ◇**一色産うなぎ**の維持発展のため、老朽化した養鰻水道の布設替えを継続支援
 - ◇佐久島産のさつまいもを原料とした焼酎の販売など**島の新たな産業創出**の機会を支援
 - ◇**ふるさと応援寄附金制度**により西尾市の魅力を広く全国にPR
 - ◇女性や障害者など市民の雇用機会の拡大や市内企業の雇用創出を図るため、**雇用促進奨励金制度**を新たに創設
 - ◇企業の強みなどを掲載した「**頑張るものづくり企業 in 西尾**」(冊子)の改訂、市内ものづくり企業との**大規模展示会**への共同出展
- ※FIT…海外からの個人旅行者

令和元年度の見込み(当初予算)

市税収入 305 億円

一般会計の予算規模は 550 億円

特別会計及び企業会計を合わせた総予算は1,054 億円



■利便性と快適性を高める基盤づくり〔道路、災害対策、公共交通、市街地、上水道、下水道〕

- ◇主要幹線道路の整備
 - ・**国道 23 号名豊道路**〔4 車線化〕及び未整備区間の整備、**衣浦岡崎線**〔4 車線化〕、**西尾幡豆線**〔鶴ヶ池町から吉良町までの整備〕、**安城一色線**などの早期整備を要望
- ◇街路・市道の整備
 - ・**須脇 15 号線**〔県立特別支援学校の建設と合わせて整備〕、**田貫徳永線**、**斉藤市子 6 号線**、**平坂 93 号線**、**新在家上矢田 1 号線**、**平口 1 号線**の整備
 - ・一色町地内の**池田野田 1 号線**や吉良町地内の**吉田 224 号線**、**保定 183 号線**などの整備、**江原室町線**〔安全対策のための歩道設置〕
- ◇上水道の整備
 - ・重要管路の**耐震化**、老朽管の更新及び**漏水調査**、志貴野水源送水場浄水設備の更新
- ◇公共下水道の整備
 - ・既設管路の**耐震改修**、一色西部ポンプ場の**耐震補強**
 - ・下水道事業の持続可能な企業経営を図るため、**整備区域の見直しと使用料の改定**を実施
- ◇公共交通ネットワークの構築
 - ・名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会が進める誘客推進活動や、商工会議所はじめ 6 団体が開催する**ロゲイニング**(チェックポイントを巡り、得点を競う競技)を支援
 - ・バス交通再編に向けたアンケート調査及び利用実態調査の結果を踏まえ、市民の皆さまから直接意見をお聴きするため**地区別説明会**を開催
- ◇西尾駅西側に建設された**コンベンションホール棟**に加え、**ホテル棟**がオープンすることにより、駅周辺を核とする**賑わい創出**の推進



イメージ図

コンベンションホール棟/ホテル棟

乗っこのこそう



名鉄西尾・蒲郡線



■地域を支える文化と人を育む環境づくり〔子育て、学校教育、生涯学習、歴史文化、スポーツ、青少年健全育成〕

- ◇子育てできる環境づくり
 - ・幼稚園・保育園の**認定こども園化**の推進
 - ・同一世帯で同時に二人以上が利用する場合、二人目以降の**児童クラブ保育料を半額**
 - ・**特定不妊治療費**及び**男性不妊治療費**に対する助成制度の拡充
 - ・出産祝い金「**西尾すこやか祝い金**」及び保育園・幼稚園の**給食費無料化**を継続
- ◇教育環境の充実
 - ・小中一貫教育と少人数による教育環境を生かし、県下初となる義務教育学校「**佐久島しおさい学校**」を開校
 - ・支援が必要な児童生徒など一人ひとりへのきめ細やかな指導を行うための**教育補助者**を配置
- ◇学校施設の整備
 - ・児童生徒の学習環境を改善するため、全ての**小・中・義務教育学校普通教室へのエアコン設置**
 - ・体育館の天井やガラスなどの**非構造部材の耐震化**
- ◇「**県立特別支援学校**」の開校に向け、建設地の造成工事などに着手〔須脇町地内：**令和 4 年 4 月開校**を目指した整備〕
- ◇**新学校給食センター**の造成工事及び設計業務などを実施〔県立特別支援学校隣接地に建設予定：**令和 3 年 9 月開設**を目指した整備〕
- ◇**西尾城二之丸跡整備**に着手〔二之丸丑寅櫓と屏風折れの土堀約 50 メートルの復元：**令和 2 年度**の完成を目指した整備〕
- ◇**フルマラソン大会**の開催に向け、コース選定に係る調査及び大会PR業務を実施〔令和 3 年度の開催を目指した準備〕
- ◇**デンソーエアリービーズ**ホームタウンとして、市民と一体となり応援する機運を高めるため、PRフラッグを市役所駐車場に掲示



二之丸丑寅櫓と屏風折れの土堀の復元 完成予想図



■安心できる暮らしを支える健康・福祉のまちづくり〔地域医療、健康づくり、高齢者福祉、障害者福祉、社会保障、消費者保護〕

- ◇西尾市民病院の医師不足解消に向けて**トップセールスを実施**するとともに、医師紹介会社の活用など、各種施策に取り組む
- ◇**西尾市民病院と碧南市民病院との今後の在り方協議**に関して、西尾市は碧南市に対し、両市民病院を経営統合し、両市で2病院体制を維持しつつ、両病院で急性期医療を継続する案を提案
- ◇あらゆる場面で手話が使える社会を目指し、**手話言語条例**を制定
- ◇介護予防・生活支援サービスとして、要支援者などを対象とした**「送迎付き運動教室」**を実施
- ◇認知症の方やその家族などに対し、**認知症初期集中支援チームによる初期支援**を包括的・集中的に実施
- ◇地域包括支援ネットワークの構築を強化するため、新たに**高齢者生活支援コーディネーター**を市役所内に配置
- ◇障害者の歯科診療の充実を図るため、**「障害者歯科診療所」**を休日診療所の西側に開設



■安全とうるおいのある環境づくり〔公園・緑地、自然環境、河川・海岸、地球環境、環境衛生、防災、防犯・交通安全、消防〕

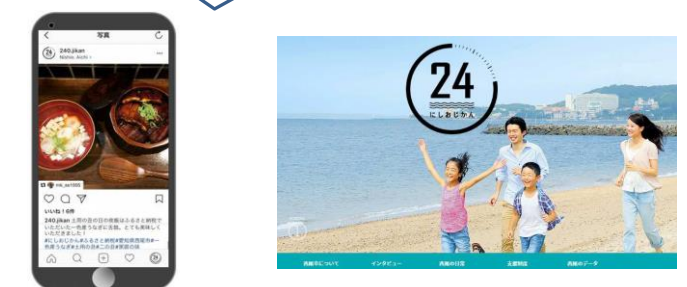
- ◇**津波避難タワー**の建設に向け、用地の選定や用地交渉に着手〔令和4年度までに、一色・吉良地区に2基ずつ建設予定。将来的には10基整備予定〕
- ◇**防災ヘリポート**(海拔ゼロメートル地帯における防災活動拠点)の用地確保などを実施
- ◇防災無線の放送内容や緊急速報メールの内容を確認することができる**防災アプリ**の供用を開始〔5か国語表示機能により外国籍住民へ配慮〕
- ◇アナログ式の**防災行政無線(同報系)のデジタル化**や避難所への**災害用トイレの整備**を順次実施
- ◇河川・海岸の改修・整備
 - ・**寺津漁港の海岸堤防**の耐震化工事を実施〔今年度は、延長260メートルを予定〕
 - ・国と連携し、矢作古川分派堰の隣接地に**矢作川志貴野地区河川防災ステーション**を整備
 - ・**矢作古川、矢崎川**及び**北浜川**の河川堤防の耐震化を関係機関に強く要望
- ◇公用車にドライブレコーダー搭載掲示や歩行者保護を呼びかけるステッカーを掲示し、**地域の見守り活動**などを実施
- ◇多言語対応の「ごみの分け方出し方ガイドブック」を一新し、**多文化共生のごみ減量**を推進
- ◇防犯灯・防犯カメラの設置に対する補助、**防犯パトロール**や**交通安全教室**などを実施
- ◇岡崎、西尾、幸田で協議を進めている**広域新焼却施設の建設**に向け、立地場所を決定〔令和12年度の供用開始を目指す〕
- ◇**放置された産業廃棄物最終処分場跡地**を県と連携して対応
- ◇**新たな産業廃棄物処分場**について、有識者会議の研究結果を踏まえ、許可権限を持つ県に対して許可しないことを強く要望、併せて住民投票条例を研究



■市民と行政が共に考え、行動するまちづくり〔市民協働、情報共有、コミュニティ、行財政改革〕

- ◇パンフレットやウェブサイト、Instagramによる従来の情報発信に加え、フェイスブックを通じて写真で西尾の魅力を伝える**「にしおイズム」**を事業化
- ◇市民サービスの向上と効率的な行政運営を実現するスマート自治体への転換を目指し、**AI・ロボティクス**による事務の自動処理を検討
- ◇コンビニ交付の利用促進とマイナンバーカードの普及、市役所窓口の混雑緩和を図るため、**コンビニ交付における証明書発行手数料の値下げ**を実施
- ◇多様性を尊重する取り組みとして、同性カップルやLGBTへの差別、偏見の解消などを目的とした**同性パートナーを公的に認証する制度**を新たに導入
- ◇市政に参画する機会の少ない皆さんから、それぞれの視点による提案や意見などをお聴きする場として**学生議会**や**女性議会**を継続開催
- ◇まちづくりや市政に対する関心を高める機会として、**市民討議会**を継続開催
- ◇予算編成の過程で、市民が意見を言うことができる**予算編成過程の公開**を継続実施
- ◇**「ワクワク西尾創生コンテスト」**の優秀提案について、順次事業化を進めるとともに、制度内容のブラッシュアップを図り、コンテストを継続開催
- ◇公共施設再配置第1次プロジェクト**「きら市民交流センター(仮称)支所棟」**について、生涯学習施設としての用途変更工事を実施
- ◇**「旧一色支所本庁舎」**について、「財政負担軽減のため解体して土地は売却する」との方針に基づき、売却条件等を整理

SNSを活用し、西尾の魅力を発信



「住みたいまち」「働くことのできるまち」「訪れたいまち」

少子高齢化と人口減少に対応するため、3つの観点から各種施策を積極的に展開
行政と市民が信頼関係で結ばれた「チーム西尾市」で全力を挙げて取り組みます！



中村市長政策目標（マニフェスト）進捗状況

○調査時点 平成30年7月1日現在

○進捗状況 事業の進捗状況により、以下のとおり5段階で評価しています。

評価区分	評価基準（進捗状況）
☆☆☆☆（100%）	実施済み、または具体的な成果が表れているもの
☆☆☆（75%）	実行中または計画中で進捗度が高い状況のもの、もしくはある程度成果が表れているもの
☆☆（50%）	実行中または計画中で進捗度が中間程度の状況のもの
☆（25%）	実行中または計画中で進捗度が低い状況のもの
0%	未実施のもの、または計画の修正が必要なもの

※主担当課欄の（ ）内は令和元年度の担当課名です

全体の進捗率

46.6%

☆（54）／☆（116）

① 子育て・教育

進捗率

66.7%

No.	政策目標	主担当課	事業概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
1	病児保育、病後児保育の充実を図り、子育てしやすい環境を整備します。	子ども課（保育課）	児童が病気または病気の回復期で、集団保育の困難な期間一時的に当該児童を専用施設で預かる病児・病後児保育を実施。 1 病児・病後児保育 平成28年4月「エルザのいえ」（富山町）開園。 ・運営主体 とみやまこどもクリニック ・保育時間 8時から18時 ・利用定員 12人 2 病後児保育 平成20年10月「ほほえみ」（中原町）開園。 ・運営主体 中野郷保育園 ・保育時間 8時から18時 ・利用定員 4人	☆☆☆（75%）
2	3歳児から5歳児の保育料・授業料を段階的に無償化することを目指します。	子ども課（保育課）	子育て世帯の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図るため3歳児から5歳児の保育料・授業料を無償化する。 実施時期は、厳しい財政状況におかれているため、国の動向を注視している。 平成27年度から子ども子育て新制度の施行に伴い保育料を新たに設定したが、幼稚園保育料について保育園保育料との均衡を勘案し、平成30年4月から一部の階層で見直しを行った。	☆（25%）
3	安心して子どもを産み育てられるよう、特定不妊治療（男女とも）への助成を拡充します。	健康課	平成30年4月1日より、西尾市特定不妊治療費助成金支給要綱を改正し、特定不妊治療に付随して行われた男性不妊治療も助成の対象とした。	☆☆☆（75%）
4	公共施設のオムツ替えや授乳スペースを順次整備します。	各施設管理課	平成30年2月、家庭児童支援課において、公共施設におけるおむつ替え及び授乳専用スペースの設置状況調査を実施した。 市役所、支所、図書館、ふれあいセンター、公民館など公共施設（保育園、幼稚園含む）99施設のうち、おむつ替えまたは授乳スペースを常設している施設は57施設。そのほかの42施設においても申し出によりスペースを提供し対応している。 また、乳幼児を連れた保護者が外出時に、安心しておむつ替えや授乳が行える場所の目印となるロゴマーク『あかちゃんケアスペース「にこっと」』を、公共施設の入口などへの掲示を平成30年3月から開始した。	☆☆☆（75%）

① 子育て・教育

No.	政策目標	主担当課	事業概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
5	学校司書を拡充し、学校図書館を充実させることで、子どもたちの豊かな心と確かな学力を育成します。	学校教育課	子どもたちの読書環境の向上、読書指導の充実を図るため、平成15年度から学校司書2人を中学校に配置し、平成20年度には6人を配置。平成22年度からは「西尾市子ども読書活動推進計画」に基づき小中学校に8人、合併に伴い平成23年度からは旧幡豆郡の小中学校にも3人を配置。平成24年度に全体で13人を配置した後、平成25年度からは毎年1人を増員し、平成28年度までに全小中学校36校に学校司書17人を配置をした。平成30年度は、さらなる学校図書館の充実を図るために学校司書アドバイザー1人を別に配置した。	☆☆☆ (75%)
6	子どもの貧困対策にまぎ学習支援の面から取り組むことで、貧困の連鎖を断ち切り、教育の機会均等を図ります。	福祉課 教育庶務課	【福祉課】西尾市サポートスクール 生活保護世帯と就学援助受給世帯に属する中学生を対象に、本年6月より毎週土曜日、午後1時30分から午後4時30分まで、総合福祉センター集会室において、1年生と2年生3年生を隔週に分け、西尾市サポートスクールを無料で開催する。子ども達が安心して学習に取り組むことのできる居場所の提供及び教員OBによる基礎学力の向上を目指した個別支援を行っている。また、遠方の参加者には、公共交通機関の交通費を支給し、6月は1回あたり15、6人参加があった。 【教育庶務課】西尾市奨学金 未来を担う若者の修学を支援するため、能力があるにも関わらず、経済的理由により修学が困難な高校生を対象とした「給付型奨学金制度」を平成30年度から創設した。 奨学金の額は月額9,000円。実施に向け、下記のとおり事業を進めた。 ・平成29年10月の教育委員会定例会にて「西尾市奨学金規則」の承認を得る。 ・平成29年12月議会にて「西尾市奨学金条例」を上程し、議決される。 ・平成30年12月から1月にて、市内中学校へ奨学金制度の周知を図る。（中学3年生を捕捉するため） ・平成30年2月から3月にて、卒業先の高等学校等へ制度の周知を図る。（高校1、2年生を捕捉するため） ・平成30年4月 ホームページへ掲載 ・平成30年5月 募集について「広報」及び「西尾市に住む外国人のための生活情報」へ掲載する。 ・平成30年5月 プレスリリースを実施する。 ・平成30年6月 募集の受付を開始する。	☆☆☆ (75%)

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
1	市民病院の医師不足解消に向けた積極的なトップセールスを実施し、安全・安心で持続可能な地域医療体制の確立に努めます。	市民病院管理課	医師確保をはかるため、市長自らが大学医局や愛知県に訪問し、トップセールスを実施するものである。市長就任以降、大学医局及び愛知県へそれぞれ1回ずつ訪問している。市長としては都合がつくかぎり訪問したいという意向はあるが、訪問するタイミングを逸しないようにするために日程調整がなかなかつかないのが現状であり、市長の訪問回数としては多くないのが現状である。	☆ (25%)
2	健康寿命を延ばし、認知症対策を推進するためにも、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防を地域で包括的に取り組む地域包括ケア先進地を目指し、高齢者に優しい地域づくりに取り組みます。	長寿課	・認知症総合支援事業 平成30年2月に認知症初期集中支援チームを設置し、認知症サポート医や専門職で構成するチームにより、家庭訪問やチーム員会議等を行い、支援計画、支援内容等に基づきながら初期段階から集中的に支援を実施している。 ・在宅医療・介護連携推進事業 平成30年4月に西尾市在宅医療介護連携支援センターを設置し、住み慣れた地域で療養を行うことができる在宅医療を推進するため、地域の病院や診療所等が高齢者を地域で支えるサポート体制の構築を目指し、多職種協働による研修会・講演会等を行う。 ・生活支援体制整備事業 平成30年4月に生活支援コーディネーターを配置し、65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯の方で、困っている高齢者の生活を支援するサービスを展開し、地域住民相互間、特に高齢者相互間の支え合い・助け合いを行うボランティア活動の拡大に努める。	☆☆ (50%)
3	高齢者の閉じこもりを防ぎ、住み慣れた地域でいきいきと自分らしい暮らしを続けることができるよう、宅老所や「いきいきサービス」の活動を積極的に展開します。	長寿課	・宅老所をはじめとする「高齢者通いの場」運営支援事業 「高齢者通いの場」とは、地域住民（65歳以上の高齢者が、1回当たり概ね10人以上）の皆さんが身近な場所（ふれあいセンター、公民館など）に集まって、歌、ゲーム、お茶会、体操、レクリエーションなどを行って、楽しく交流する場所である。 サロンやクラブなどの愛称を用いた高齢者通いの場は、宅老所運営の7団体をはじめ、市内に合計27団体あり、ボランティアによる活発な運営がされている。今後も、市では高齢者通いの場の立ち上げ助成・支援や継続運営のための委託料の支給、情報提供を行っていく。 ・いきいきサービス運営事業 いきいきサービスは、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスに位置づけ、高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的とした事業として展開していく。 サービス内容は、送迎付きで、健康チェックや体操、レクリエーションを行っており、平成29年度においてのサービス利用者数は延2,737人で、大変好評を得ている。	☆☆☆ (75%)

② 医療・福祉

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
4	認知症や知的障害により、判断能力が十分ではない高齢者の権利を法律面で支援する、成年後見制度の普及に力を入れます。	福祉課	・西尾市成年後見センター 平成27年10月1日から西尾市総合福祉センター内に西尾市成年後見センターを設置（西尾市社会福祉協議会に委託）し、成年後見制度に関する相談支援、制度の普及啓発活動を行う。 平成29年度の実績 ＜相談支援＞ ・相談件数 77件 制度の概要説明、申立ての手続き支援などを実施する。 ＜普及啓発活動＞ ・研修会や説明会にて制度の説明を行う 計6回 対象：市職員、ヘルパー、ケアマネージャー、包括支援センター職員、相談支援、事業所職員、障害福祉サービス事業所職員、障害者の家族など ・社協だよりや市の広報に成年後見制度の内容を掲載し、市民を対象に制度の周知を図る。	☆☆☆ (75%)

③ まちづくり・交通・雇用・観光

進捗率

42.9%

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
1	「くるりんバス」や路線バス等、地域公共交通の路線を再編し、地域内を巡回して買い物や病院へ通える「いこまいかー（乗合タクシー）」で補完することで、交通弱者が生まれない交通体系を構築します。	地域支援協働課（地域つながり課）	一色地区公共交通協議会において協議がまとまり、平成29年10月から一色地区で「いっちゃんバス」の運行が開始された。また、吉良地区公共交通協議会において協議がまとまり、平成30年3月から吉良地区で「いこまいかー」の目的地の拡大が開始された。 平成30年6月に幡豆地区公共交通協議会が設立され、協議が開始された。	☆ (25%)
2	鉄道網が安定して継続できるよう、名鉄の駅周辺に月極駐車場を整備し、定期利用者を確保することで、利用を促進します。	地域支援協働課（地域つながり課）	名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を図るため、駅周辺にパークアンドライド駐車場を整備し、通勤・通学の利用者の増加を目指すべく、「名鉄西尾・蒲郡線パークアンドライド駐車場運営費補助金交付要綱」を平成30年4月1日から施行した。 これにより、市民ニーズの高い福地駅周辺において、民間の遊休地を活用し、20台以上のパークアンドライド駐車場を確保することができた。	☆☆☆ (75%)
3	工業団地の開発や緑地面積率の緩和により、企業誘致の促進と雇用の創出を図ります。	企業誘致課	・工業団地の開発 西尾市都市計画マスタープランの工業系開発計画区域に位置づけられている法光寺町の堀割地区約1.9haにおいて、西尾市土地開発公社で工業団地の開発を進めている。平成29年度は測量・地質調査業務を実施した。 ・緑地面積率の緩和 平成23年10月から工業専用地域についてのみ緑地面積率等の緩和を行っている。現在、西尾市内には一定規模以上の工場が多数あり、これらの工場の中には、工場等の建て替えや増設を希望しても、工場周辺での敷地の拡大が困難な工場が存在しているため、平成29年度に新たに「西尾市工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例」を制定し、緑地面積率等の緩和措置を拡大した。	☆☆☆ (75%)

③ まちづくり・交通・雇用・観光

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
4	西尾市の埋もれている地域の歴史や文化を再確認し、地域住民のみならず個性ある活性化対策と、起業支援に取り組めます。	商工観光課 文化振興課 地域支援 協働課 （地域つながり課）	【商工観光課】 ・観光メニューの創出 西尾おもてなし大学の卒業生による西尾おもてなし隊を組織し、一般社団法人西尾市観光協会で販売するツアー造成などに取り組んできた。西尾おもてなし大学を受講することで、市全体の観光資源について勉強した受講生が、各人の個性を活かしながら活動している。 ・起業創業の支援 創業を考えている方に対し「創業キホン塾」「創業支援セミナー」を開催し、情報の共有、創業後のフォローアップ、創業後の融資の保証料補助を行い支援している。 【文化振興課】 市の豊かな歴史、文化、風土を明らかにし、その魅力を市民にお伝えする『新編西尾市史』の編さん事業を進めている。編さんにあたっては、地域に眠る古文書や記録、寺社の文化財、祭礼、風俗、自然など、あらゆる分野で資料の収集や調査を実施して、検証を行っている。 【地域支援協働課（地域つながり課）】 ・新たな市民協働によるまちづくり 〈事業概要〉 コミュニティ地区を核として、各地域にある自然や産業、伝統、文化等の未活用資源を掘り起こし、事業化することで地域の活性化と市の発展につなげる仕組みをつくる。 地域の人が自ら知恵を出していただくために、市が寄り添い支援していくことで、市と地域が協働で地域力を向上させる。 〈取組状況〉 平成30年度、県の地域連携大学のテーマとして取り上げてもらい、制度構築を進めている。	☆☆ (50%)
5	市内の観光拠点として、道の駅「にしお岡ノ山」を拡張し、機能を充実させます。	商工観光課	今年度実施する観光基本計画の中間見直しに際し、市民の意見等を反映させながら、道の駅にしお岡ノ山の今後の活用について検討する。	☆ (25%)
6	一色・吉良・幡豆の海岸部でフルマラソン大会などを開催し、スポーツ振興と観光振興を合わせた地域活性化を図ります。	スポーツ課 商工観光課	【スポーツ課】 西尾市の一大スポーツイベントとして、平成33年度のフルマラソン大会開催を目指し、それに伴う広報活動や先進地視察、また大会運営の計画等を行う。 ・平成29年3月に静岡県島田市の「しまだ大井川マラソン」の事務局に一色マラソン大会実行委員会岩瀬会長以下5名が訪問し、組織や大会規模（予算）等について勉強会を行った。 ・平成29年11月に岐阜県揖斐川町の「いびがわマラソン」の大会当日に一色マラソン大会実行委員会委員含む5名が訪問し、実際に行われている様子を見学した。 【商工観光課】 未着手	☆ (25%)

③ まちづくり・交通・雇用・観光

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
7	名君吉良公をテーマにした大河ドラマの誘致を目指します。	商工観光課	忠臣蔵ゆかりの自治体で構成する義士親善友好都市交流会議において、2020年の大河ドラマ誘致を目標に活動してきたが、誘致には至らず。今後も、引き続き「忠臣蔵」を題材とした大河ドラマの実現に向けて、交流市町において取組を進めていく予定。	☆ (25%)

④ 環境・防災

進捗率

43.8%

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
1	新たな産業廃棄物処分場の建設については、これまでも断固反対しており、この姿勢を貫きます。	環境保全課	一色町生田地内における新たな産業廃棄物処分場建設計画に関して、周辺環境への影響や建設地としての適否について、専門的な見地から調査・研究を行ってきた産廃処理施設建設計画影響調査研究会から、「今回の産廃処分場の建設は回避されることが望ましい」との研究結果が市長に報告されたことを受け、市長が、平成30年5月29日に施設設置の許可権限を有する愛知県知事宛に、産業廃棄物処分場の建設を許可しないことを求める要望書を提出した。 また、同研究会からは、三河湾への汚濁物質の拡散などの影響についても指摘されていることから、愛知県漁業協同組合連合会及び西三支部に対しても研究結果について報告するとともに、市としては新たな産業廃棄物処分場の建設には反対の姿勢であることを説明した。 さらに、市民には、産廃処分場問題の概要や研究会の研究結果について広報にしておに掲載するとともに、地域説明会において説明し広く周知を行った。	☆☆ (50%)
2	市民の憩いの場として、ちびっこ広場や公園の整備と、残された自然環境の保全に努めます。	公園緑地課 子育て支援課 環境保全課	【公園緑地課】 ・公園の整備 親子で楽しめる公園事業として、八ツ面山公園（女山）において園路整備を実施する。本整備により、八ツ面山公園と岡ノ山遊ぼう茶広場を連絡し、親子で楽しめる公園としての一体利用を促進する。 ・緑地の保全及び緑化の推進 緑の街並み推進事業として、民有地緑化に対する補助金を交付する。平成29年度は4件の申し込みがあり実施した。今年度は6月末時点で3件の申し込みがあり、実施される予定。 【子育て支援課】 ・町内会からの工事要望を踏まえ、児童遊園及びちびっこ広場の整備を実施。 ・小牧ちびっこ広場（平成29年度に整備済） ・遠ノ子ちびっこ広場（平成30年度に整備予定） 【環境保全課】 三ヶ根山、宮崎海岸、佐久島など三河湾国定公園内の自然環境の保全は、自然公園法に基づく届出等に対して市長意見を申し添えることで、乱開発の防止や自然風景地の保全に努めている。干潟や里山などの自然環境は、私たちの生活と密接に関係し、保全していく必要があることから、市民活動団体と連携して環境学習講座などの啓発活動を実施している。 また、小学生を対象とした環境学習講座である夏休み講座（全6回）を開講する予定。	☆☆ (50%)

④ 環境・防災

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
3	消防団PRイベントを実施することで、認知度向上を図るとともに、消防団を応援する機運を盛り上げます。	消防本部 総務課	消防団PRイベントとして、下記の活動を実施した。 ①きらまつりにおいて、缶バッジ配布。（11月11日・12日） ②消防出初式で啓発品配布、缶バッジ配布、防火衣試着撮影会。（1月6日） ③愛知県が定める「あいち消防団の日」に合わせた県下一斉のキャンペーンにおいて、大型物販店で啓発品を配布。（1月20日） ④愛知こどもの国のイベントに合わせて、消防車両の展示、啓発品の配布、防火衣試着撮影会。（3月4日） 消防団PRイベント以外に、地元漫画家を起用し消防団員募集ポスターを作成し、公共施設や大型物販店に掲示依頼しました。また、②から④のPR活動において掲示した。	☆☆ (50%)
4	万が一の津波や高波に備え、早急な堤防整備を県に働きかけるとともに、緊急時の危機管理体制の強化を進めます。	河川港湾課 危機管理課	【河川港湾課】 愛知県が管理している河川堤防及び海岸堤防は、平成26年12月に策定の第3次あいち地震対策アクションプランにより耐震化が必要とされた、矢作古川、矢崎川及び一色（大岡）海岸を始め7海岸について事業を進めている。 市が進める、寺津漁港海岸堤防の耐震対策は、平成25年度に耐震点検を行い、平成26年度に、実施設計業務を実施して、平成27年度から耐震対策工事に着手し、平成29年度までに170m施工しました。平成30年度も引き続き耐震対策工事を行っていく。 【危機管理課】 ・避難場所等の施設・設備の整備 平成30年3月に津波浸水避難シミュレーションを策定し、市民に周知を図るとともに、市民参加による津波避難ワークショップを開催している。 ワークショップでは、津波避難行動の確認・検証を実施し、併せて津波避難施設の種類・場所について検討を始めている。 社会資本整備総合交付金を活用して避難者数に対応したトイレの整備や津波避難施設の整備を行う。 ・防災体制の整備 災害対策本部設置訓練の中で、ブラインド訓練を実施し、各部署の取組内容を報告している。今後も同様により実践的な訓練を行い、防災体制の強化を図る。	☆ (25%)

⑤ 市役所と市民参加

進捗率

31.3%

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
1	全ての事業を棚卸しし、組織を見直すことで、ムダを削ぎ落としスリムで柔軟な市役所に変えて行きます。	企画政策課	予算、職員数が減る中で、新たな事業を企画、推進するため、各事務を評価し、既存事業のスクラップ等を進めスリムで柔軟な市役所を目指していく。 各所属の事務分担などを参考に全業務（詳細な事務レベル）の洗出しを行い、各事務について妥当性、有効性、効率性などの評価項目によるチェックを基に、事務を精査する。 事務事業評価以上の細かな事務レベルにより事務をチェックすることで今まで見えてこなかった事務の廃止や重複業務の解消等の成果を期待する。 各課からの提出された事務の洗い出し及びセルフチェック（一次チェック）に基づき、現在、基準を下回った事務をピックアップ中。	☆ (25%)
2	「約200億円もの巨額な費用を使い、たった1社に最長30年にわたって委託する」西尾市方式PFI事業を凍結し、市民の声を反映させて全面的に見直すとともに、積極的な情報公開に努めます。	企画政策課	平成29年度には、一色3館の改修工事及び包括マネジメント事業を除く全ての事業を一時凍結した。また、意見交換会や市民アンケートを実施し、平成30年3月5日には、最大公約数的に市民の声を反映させた見直し方針を公表した。 現在、この見直し方針に基づき策定した、きら市民交流センター（仮称）を除く業務要求水準書の変更案をSPCに通知し、事業契約書に基づいて協議を行っている。	☆☆ (50%)
3	新規採用を計画的に抑制し、職員数の削減を行い、10年で2割の人員費減を目指します。	人事課	定員適正化計画に基づき、下記のとおり常勤一般職員（病院医療関係及び再任用職員除く）の人員費（※）を抑制した。 ※算出用人員費は7,180千円とする。 → 事務の棚卸しシート人員費H30見込（共済費含む）7,189,909円⇒7,180千円 〈常勤一般職員数〉 30.4.1現在職員数 $1,219人 \times 7,180千円 = 8,752,420千円 \dots ①$ 29.4.1現在職員数 $1,227人 \times 7,180千円 = 8,809,860千円 \dots ②$ 1 削減額 $① - ② = \blacktriangle 57,440千円$ 2 削減率 $① \div ② \times 100 = 99.3\%$ $\rightarrow \blacktriangle 0.7\%$ 3 削減人数 $1,219人 - 1,227人 = \blacktriangle 8人$	☆ (25%)

⑤ 市役所と市民参加

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
4	職員の能力を伸ばすための研修を充実させ、市民にとってより満足度の高い市役所を目指します。	人事課	「西尾市人材育成基本方針」に掲げる職員の育成を目指し、研修目標の異なる4つの研修区分（①基本研修、②特別研修、③派遣研修、④職場研修）について、毎年度計画的に実施しています。 ①基本研修 それぞれの階層に求められる役割と能力に応じた職務遂行に必要な知識、技能及び態度について研修を実施しています。（一般職員研修・管理者研修） ②特別研修 日常の職務を能率的に遂行するために、幅広い知識を身に付けるとともに考える力を向上させ、実務に役立つ研修を実施します。（接遇マナー研修などの内部研修・自主研究グループ・通信教育など） ③派遣研修 今後の行政運営に役立てるため、職場では得ることのできない高度な専門知識や技能の習得及び幅広い視野の育成を図るため、外部機関へ職員を派遣しています。（研修センター・自治大学校・市町村アカデミー・全国建設研修センターなど） ④職場研修 仕事に対する問題意識と自主的な取組み意欲を起こさせるために、職場での研修は即効性が高く、管理監督者や先輩の指導が重要な役割を果たしています。市政経営品質改善運動を職場研修の中心に据え、一層の市民サービス向上を目指して実施しています。（市政経営品質改善運動・フレッシュ公務員ノート） 【平成30年度予算額】 ①基本研修 671千円 ②特別研修 1,695千円 ③派遣研修 3,627千円 ④職場研修 33千円 ／合計 6,026千円	☆☆ (50%)
5	事業、施設の見直しを市民参加で行う市民討議会を開催するとともに、市民が事業提案できる制度を創設し、市民目線で市政改革をすすめます。	企画政策課	・市民討議会 「声なき声」（サイレントマジョリティの声）を聴くため無作為で抽出された市民による討議会を開催し、市民の声が届く市政の実現を目指すもの。 男女別及び世代ごとに無作為で抽出した市民総勢約2,000人に郵送依頼し、参加いただける約30人の市民を選定。西尾市が抱える地域問題などの予め決めたテーマについて必要な情報を提供させていただいた後、グループ討議により、意見を出し合っていた。討議は、時間毎にグループメンバーが変わるワールドカフェ方式を想定。 まちづくりへの市民参加の機会を増やし、自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治意識の向上を図ることで、普段は行政やまちづくりに対して声を上げる機会の少ない市民にまちづくりを身近に感じてもらい、まちづくりや市政について関心を高めるきっかけづくりするとともに広く市民の声を聞く機会とする。 市民討議会は10月実施予定。テーマは2つで、午前、午後ひとつずつテーマについてグループ討議を実施する。そこででた意見については市政の参考とする。 6月25日、市民討議会を共催する青年会議所と西尾市において協定書を取り交わし事業の役割分担を明確化し、今後協力して進めていくこととした。	☆ (25%)

⑤ 市役所と市民参加

No.	政策目標	主担当課	実施概要及び取組状況（平成30年7月1日まで）	進捗率
6	予算編成過程を公開することで、編成の過程に市民が意見を言える制度を整備し、市民とともに財政改革に取り組めます。	財政課	・新たな制度であり、すでに実施している市を参考に、本市の予算編成のスケジュールや内容を考慮し、制度設計を行った。 ・公開する事業は、市の各部署から提出された西尾市総合計画・実施計画（3か年実施計画）の新規事業の内、県営事業負担金や道路改良事業等を除くものとした。 ・公開内容は、事業名、事業期間、事業概要、施行理由、予算要求額等とした。 ・公開の方法・場所は、市ホームページへの掲載の他、市役所（1階行政情報コーナー）、一色支所、吉良支所、幡豆支所、寺津出張所、佐久島出張所での閲覧とした。 ・公開・意見募集期間は、8月の2週間程度とした。 ・市民への周知方法は、報道発表（プレスリリース）、広報にしお（平成30年8月1日号）への掲載、市ホームページのトップページへの掲載とした。	☆ (25%)
7	公契約の適正化と労働者の環境整備を図る公契約条例を制定します。	財政課	愛知県内で公契約条例を制定済み、及び制定を予定されている6市の状況を事前確認するため、アンケート調査を依頼し、整理取りまとめまでを実施。	☆ (25%)
8	女性議会、学生議会を実施し、女性の声・若者の声を積極的に市政に反映させます。	秘書課 (秘書広報 広聴課)	・学生議会 未来に夢や希望の持てる、ワクワクする西尾市の実現のため、中学生を対象に、毎年3校または4校で実施する。（3年で1クール） 実施方法については、懇談会形式で実施し、事前に各中学校からテーマを提出してもらい、中学生からの意見、提案を聞き、市側がそれに回答する。 出席者は中学生側は生徒会などを想定し10人程度、市側は市長及びテーマに沿って担当する部長等を予定している。 会場は、学校の負担も考慮して各学校で実施し、1時間程度を予定している。 ・女性議会 普段から市に声を届ける機会の少ない女性に、まちづくりへの関心を深め、市政へ参画できる機会を設けること、また女性の視点を生かしたまちづくりを推進することを目的に隔年で実施する。 実施方法については、模擬議会形式で実施し、公募及び女性団体からの推薦を合わせて5人から6人で予定し、市側は市長始め副市長、教育長、部長、次長が出席し、意見や提案を聞き回答をする。 時間は1人につき15分程度とし、トータルで2時間程度を予定している。	☆ (25%)

メモ欄

【問い合わせ先】 西尾市総合政策部 秘書広報広聴課

広報広聴担当 電話 6 5 - 2 1 6 0 (直通)